

ユーロ圏金融政策（2025年4月）

6会合連続で0.25%ptの利下げを決定

2025年4月18日

貿易に係る緊張の高まりのなか、用意周到に機敏に行動する意志を表明

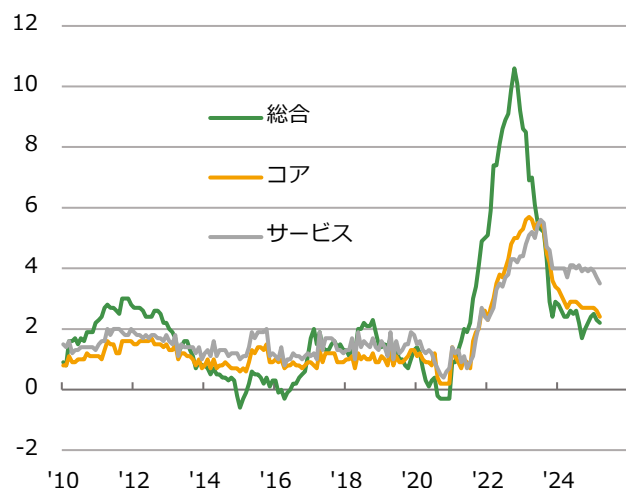
ECB（欧州中央銀行）は4月16・17日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って預け入れる資金の金利）を全会一致で市場予想通り2.5%から2.25%へ引き下げました。昨年6月に利下げを開始し、9月からは6会合連続で利下げを実施したことになります。

利下げの理由は、第一に、デシインフレの順調な進展です。賃金等に起因する域内のインフレ率の高さへの記述も声明文から削除されました。第二に、ラガルド総裁が「負の需要ショック」と表現した、貿易に係る緊張の高まりです。不確実性の増大が家計・企業の信頼感を低下させ、金融市場の変動が金融環境を引き締める可能性を景気の下振れリスクとして憂慮しています。インフレについても、エネルギー価格の下落、ユーロ高、需要の減少、供給過多の国からの輸入増等を指摘し、下振れリスクを示唆しました。

3月の理事会で示した「引き締め度合いは有意に低下しつつある」との金融政策に係る判断については、ショックのない世界においてしか中立金利（ECBは1.75～2.25%と推計）は意味をなさないとして撤回した上で、貿易交渉の行方を見守りつつ、データ次第で会合毎に金融政策を決定することが今ほど必要なことではないと明言しました。米国が示した上乗せ関税の90日間の猶予期限からすると、次回6月の理事会でも貿易交渉の結論は出ていないかも知れませんが、状況に応じて用意周到に機敏に行動する意志をラガルド総裁は繰り返し表明しました。果たして、2%で利下げ打ち止めになるかどうかは流動的です。

ユーロ圏の消費者物価指数

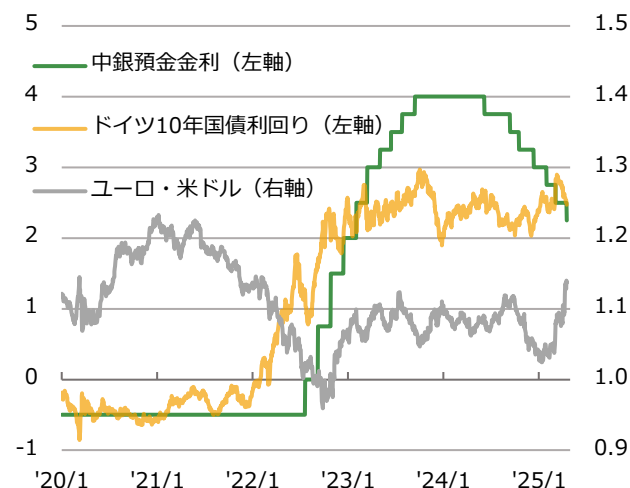
(前年同月比、%) (2010年1月～2025年3月)



※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列
(出所) 欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替

(%) (2020年1月初～2025年4月17日) (米ドル/ユーロ)



※中銀預金金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management